



令和3年7月1日
第二管区海上保安本部

令和3年は、海図150周年！ ～岩手県立図書館にて海図150周年パネル展を開催～

海図は、船舶が安全かつ効率的に航海できるよう、水深、暗礁などの水路の状況、灯台などの航路標識、船舶の運航に必要な情報を掲載している「海の地図」です。

令和3年（2021年）は、明治4年^{※注}（1871年）に我が国が単独で、近代技術をもって、海洋調査から海図作製までを一貫して行う本格的な水路業務を開始してから、150周年を迎える記念の年です。

第二管区海上保安本部では、明治5年に岩手県の釜石港が海図第一号として刊行された地であることから、7月から岩手県立図書館において、海図150周年パネル展を開催いたします。以後、東北管内においても順次パネル展を展開していく予定です。

今回のパネル展では、伊能図の模写図や海軍水路部が作成した貴重な軍事機密の図を含む、海図や航空図を展示します。

○開催場所、開催期間

岩手県立図書館 3階ミニ展示コーナー（岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1）
7月1日（木）～ 7月29日（木） 午前9時～午後8時

○主な展示内容

- ・伊能図の模写図
- ・海図第一号「りくちゅうのくにかまいしこうのず陸 中 國 釜石港之圖」
- ・昭和初期の海図等
東北の軍事機密の海図
東北の秘指定の航空図
- ・日本周辺海底地形図



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://mapps.gsi.go.jp>)

○その他

海図150周年の展示物はこちらのHPでもご覧になれます。

第二管区海上保安本部海洋情報部HP：<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN2/150kinen/>



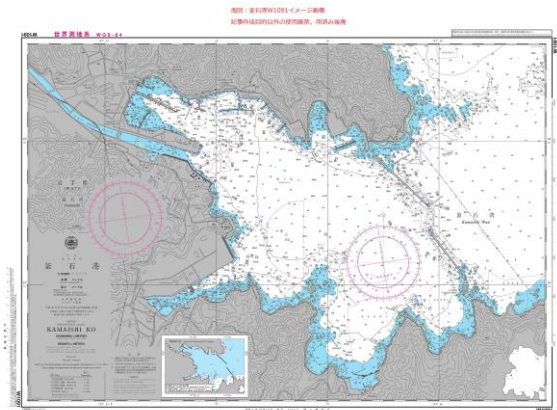
※注：

明治4年（西暦1871年）9月12日（旧暦7月28日）に兵部省海軍部に水路局（後の水路部、現在の海洋情報部）が設置されたことを記念してこの日を水路記念日としています。この水路局設置により我が国の本格的な海洋調査・海図作製が始まりました。

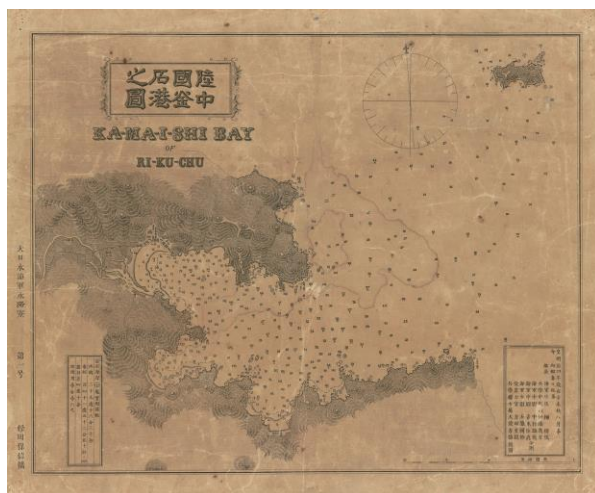
航海用海図

海上保安庁は、船舶が安全かつ効率的に航海できるように海図を作っています。海図は、航海の目標となる岩礁や岬などの海岸地形や灯台・浮標などの航路標識の配置などから、海図の包含区域、縮尺を検討、水路測量、海流・潮流の観測などの成果や資料を基に、国際的に決められた記号や表現法に沿って、全ての航海者に使い易いように正確な編集が行われます。

海図には海の深さ（水深）、灯台の位置、海流・潮流の速さや方向などの数々の情報が詳しく記載され、船舶の安全運航に欠くことができないものです。このため、ごく一部の小型船舶を除く全ての船舶に対して、海図を備え付けることが義務付けられています。



展示パネル一例



海図第一号 「陸中國釜石港之圖」

この図は、明治5年（1872年）に我が国初の海図として発行された図です。

釜石港が海図第一号として選ばれた理由は、釜石港が東京・函館間の中間補給地点として重要な港であったこと、当時高炉による銑鉄の生産に成功して官営製鉄所建設の直前であったことから、入港船舶の安全と利便を図るためであったと考えられています。

今後のパネル展の案内

開催場所	市町村	期間
東北電力アクアホール	宮城県仙台市	9月14日（火）～9月19日（日）
東北歴史博物館	宮城県多賀城市	9月下旬～10月上旬
シープラザ釜石	岩手県釜石市	10月12日（火）～10月26日（火）
宮城県立図書館	宮城県仙台市	10月29日（金）～11月11日（木）
マリンゲート塩釜	宮城県塩釜市	11月中旬
山形県立図書館	山形県山形市	調整中
福島県立図書館	福島県福島市	調整中